

今朝のオックスフォードは-2℃とまだ冷え込みが厳しいなか久しぶりに出た朝日が寒さを和らげてくれるようでした。今日がオックスフォードでの研修最終日となります。ここまで病気や怪我や事故もなく生徒は充実した研修を送れています。はじめは上手くコミュニケーションがとれずお互いが遠慮があったギクシャクした関係でのスタートでしたが、日々のワークショップやグループ活動から今となっては仲間としてサポートしあう関係が築けています。朝7時40分の集合時間には全員に今日がオックスフォードでの研修最終日となるため絶対に悔いを残さないよう伝えて朝食会場へと向かいました。

食堂は生徒にとって学生やスタッフと交流できる唯一の場所となります。昨日に引き続き日本から持参した交流ツールを使って早速学生教授と話し始める生徒もいれば、今日が最終日ということで最後の勇気を振り絞って交流している生徒もいるなど「生き様研修」として自分の可能性を知って学ぶ最高の舞台になっていることは確かです。

午前中はプレゼンテーション準備になります。午後には各班でそれぞれのテーマに沿ってオックスフォード大学生の前でプレゼンをしていきます。出発前に既にスライドに取りかかっていたグループもあればこちらに来てから準備を始めたグループもいるなどスタートラインがバラバラではありましたが12時には本番前のリハーサルを行うところまで来ました。今回のプレゼンのテーマは1班が「Omotenashi」、2班が「How to make a profitable restaurant」、3班が「Ekiden」、4班が「Earth Quack」になります。クリス先生のプレゼンテーションの講義も受けた生徒たちはリハーサルからプレゼンでの姿勢や言い方など再確認をして、さらにアクセントや単語の発音までも熱心に指導を受け確認していました。

午後のプレゼンテーションは4名の学生と1名の大学スタッフも観に来てくれました。各グループの発表後には質疑応答の時間もあえて設け、彼らから様々な視点のもと質問をしてもらいました。質問のレベルの高さから返答に困ってしまう場面が多々ありましたが、それぞれのグループに対して高評価を頂くことができました。ただしここで決して満足してはいけないことは確かです。生徒たちは帰国後も学校全体への報告会が待っています。この経験をその時に必ず活かしていけるようにと、生徒には最後に伝えました。

プレゼンテーションの後はグループリーダーの友人が今日が研修最終日となるため、特別に生徒へピアノの演奏会を開いてくれました。演奏会会場は大学の教会になります。ゴシック建築の空間全体にピアノの音色がエコーとなって広がり神秘的な空間が生まれ、何か別世界にタイムスリップしたかのような時間を過ごすことができました。

そして演奏会が終わると、最終日ということで2時間ほどお土産を買う時間を設けました。

その後夕食をとり、クリス先生の最後のワークショップを寮にある教室で行いました。最後には、ここまで様々なテーマでワークショップをして下さり、生徒に英語を話す自信と意欲を持たせてくれたクリス先生に代表生徒がお礼の挨拶をし、お別れを告げました。

また、特別ゲストとして前高OBで東大を卒業して現在スイスのチューリッヒ工科大学で化学工学を勉強されている朝倉亮氏にスカイプを使って生徒に熱いエールを送ってもらいました。朝倉氏からは最後に自分の可能性を最大限に信じてこれからの勉強に励んでほしいとメッセージを頂きました。

明日はこの研修最終目的地のロンドンへと向かいます。

プレゼンテーション準備



プレゼンテーション



プレゼンテーション



ピアノ演奏会



クリス先生へのお礼挨拶



食堂での交流

